

平成30年度企業局各会計予算の概要について

水道事業会計

業務の予定量

1 水道給水栓数	131,638 栓	(対前年度比 0.0%増)
2 水道年間総配水量	32,740,500 m ³	(対前年度比 1.1%減)
3 水道一日平均給水量	89,700 m ³	(対前年度比 1.1%減)
4 温泉一日供給量	3,906 m ³	(対前年度比 増減なし)
5 年間販売電力量	1,499,040 kW/h	(対前年度比 2.3%増)

○水道事業
配水管 4,449 m 1,145,928 千円

○温泉事業
供給管 395 m 17,280 千円

○その他 223,845 千円

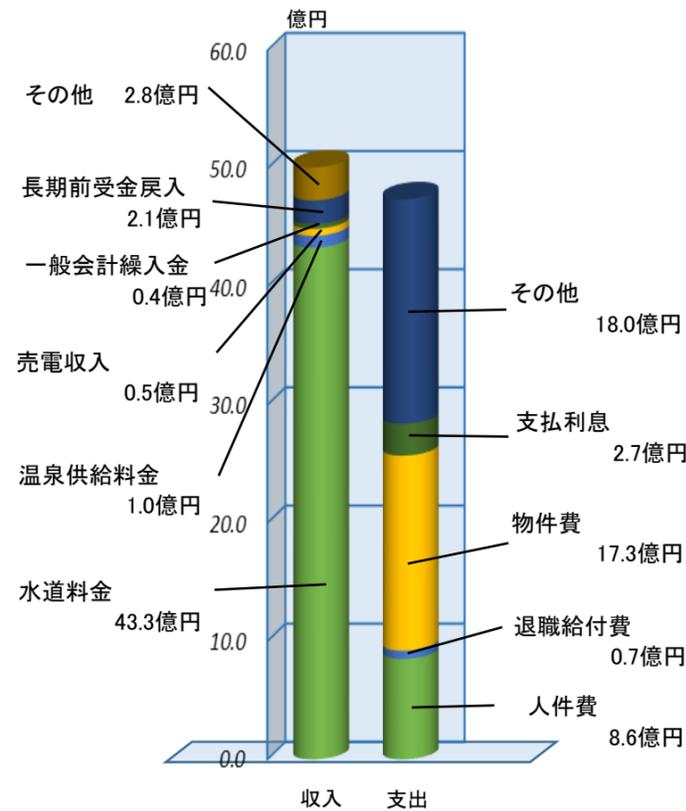
経営ビジョンとの比較

(税込単位:百万円)

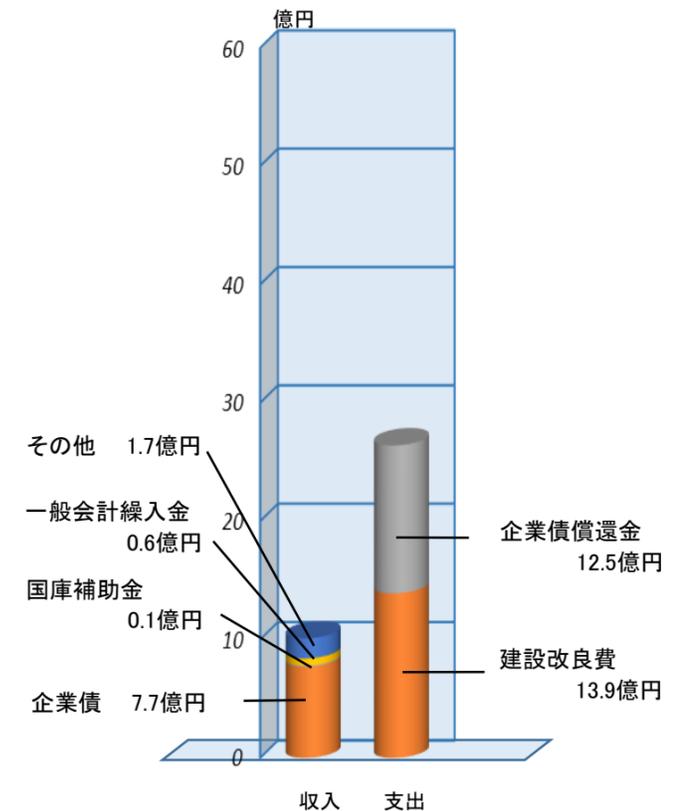
区分	H30経営ビジョン 財政計画(A)	H30当初予算(B)	増減(B)-(A)	
収益的収支	水道料金	4,285	4,328	43
	温泉供給料金	86	98	12
	売電収入	55	55	0
	一般会計繰入金	44	41	△3
	長期前受金戻入	185	209	24
	その他	295	281	△14
	収入計	4,950	5,012	62
	人件費	846	864	18
	退職給付費	88	68	△20
	物件費	1,764	1,733	△31
	支払利息	273	271	△2
	その他	1,571	1,800	229
	支出計	4,542	4,736	194
損益	408	276	△132	
資本的収支	企業債	1,231	769	△462
	国庫補助金	5	8	3
	一般会計繰入金	67	66	△1
	その他	220	169	△51
	収入計	1,522	1,012	△510
	建設改良費	1,922	1,387	△535
	企業債償還金	1,254	1,254	0
	その他			0
支出計	3,176	2,641	△535	
資本的収支不足額	△1,654	△1,629	25	
補てん財源	1,347	1,533	186	
当年度財源過不足額	101	180	79	
当年度累積財源残額	2,676	2,896	220	
当年度末企業債残高	17,820	17,248	△572	

(注)四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しません。

収益的収入及び支出



資本的収入及び支出



収益的収入合計	50.1億円	資本的収入合計	10.1億円
収益的支出合計	47.3億円	資本的支出合計	26.4億円
差引(A)	2.8億円	差引(B)	△16.3億円
(純損益)	2.0億円		
減価償却費等(C)	15.3億円		
前年度末財源残額(D)	27.2億円		
当年度財源過不足額(E=A+B+C)	1.8億円		
当年度末財源残額(F=D+E)	29.0億円		

平成30年度企業局各会計予算の概要について

公共下水道事業会計

業務の予定量

1 排水戸数	118,271 戸	(対前年度比 0.3%増)
2 年間総排水量	26,973,500 m ³	(対前年度比 1.1%減)
3 一日平均排水量	73,900 m ³	(対前年度比 1.1%減)
4 主要な建設改良事業		
○ 管渠事業	1,123,415 千円	
下水管渠	5,733 m	
○ ポンプ場事業	59,793 千円	
湯川ポンプ場自動除塵機設備	一式	
○ 処理場事業	658,349 千円	
汚水処理施設2系反応タンク設備	一式	
汚泥処理施設遠心脱水機設備	一式	
○ その他	121,355 千円	

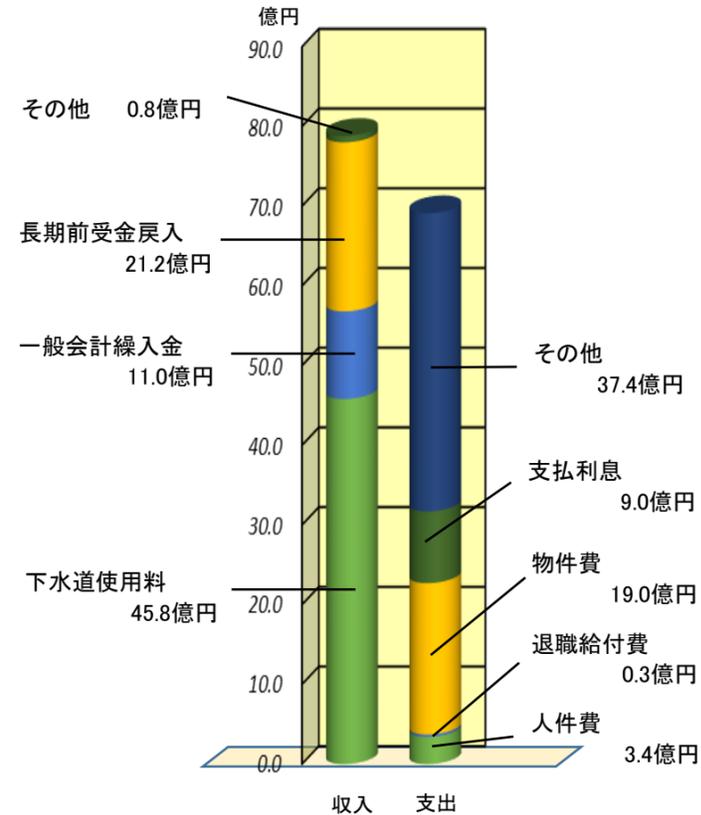
経営ビジョンとの比較

(税込単位:百万円)

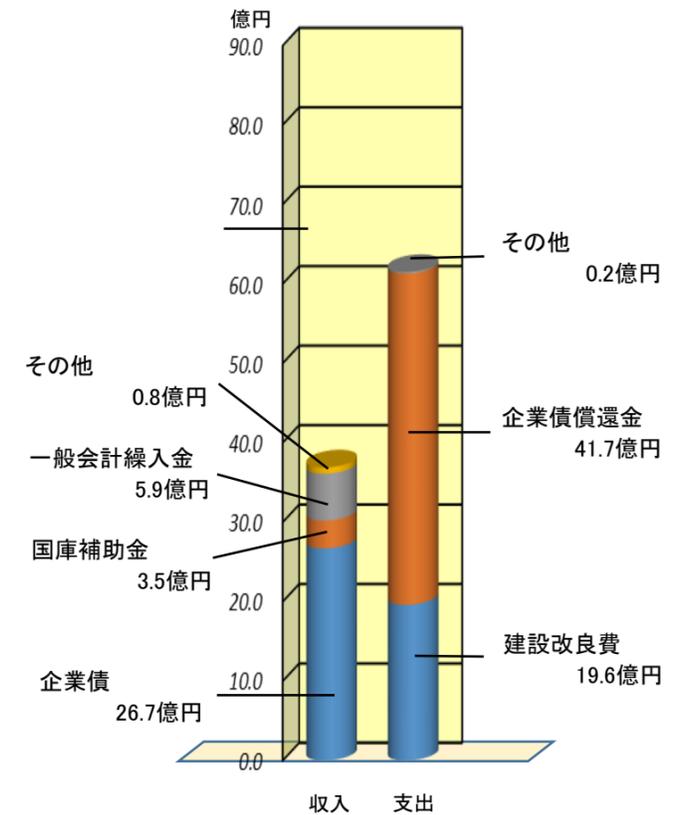
区分	H30経営ビジョン 財政計画(A)	H30当初予算(B)	増減(B)-(A)	
収益的収支	下水道使用料	4,548	4,580	32
	一般会計繰入金	1,173	1,106	△67
	長期前受金戻入	1,996	2,122	126
	その他	77	77	0
	収入計	7,794	7,885	91
	人件費	334	343	9
	退職給付費	33	29	△4
	物件費	1,850	1,898	48
	支払利息	929	904	△25
	その他	3,738	3,739	1
	支出計	6,884	6,913	29
	損益	910	972	62
資本的収支	企業債	2,433	2,671	238
	国庫補助金	692	352	△340
	一般会計繰入金	611	587	△24
	その他	30	83	53
	収入計	3,767	3,693	△74
	建設改良費	2,095	1,963	△132
	企業債償還金	4,173	4,173	0
	その他	15	17	2
支出計	6,283	6,153	△130	
資本的収支不足額	△2,517	△2,460	57	
補てん財源	1,599	1,482	△117	
当年度財源過不足額	△7	△6	1	
当年度累積財源残額	1,936	2,067	131	
当年度末企業債残高	52,530	52,622	92	

(注)四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しません。

収益的収入及び支出



資本的収入及び支出



収益的収入合計	78.8 億円	資本的収入合計	36.9 億円
収益的支出合計	69.1 億円	資本的支出合計	61.5 億円
差引(A)	9.7 億円	差引(B)	△24.6 億円
(純損益)	8.8 億円		
減価償却費等(C)	14.8 億円		
前年度末財源残額(D)	20.7 億円		
当年度財源過不足額(E=A+B+C)	△0.1 億円		
当年度末財源残額(F=D+E)	20.6 億円		

平成30年度企業局各会計予算の概要について

交通事業会計

業務の予定量

1 車 両 数	32 両	(対前年度比 増減なし)
2 年間走行キロメートル	1,011,211 km	(対前年度比 2.3% 減)
3 年間総輸送人員	5,205,888 人	(対前年度比 5.8% 減)
4 一日平均輸送人員	14,263 人	(対前年度比 5.8% 減)

5 主要な建設改良事業
○軌道費
軌道改良 300 m 140,553 千円

○車両費
車体改良 3 両 189,370 千円

○その他 820 千円

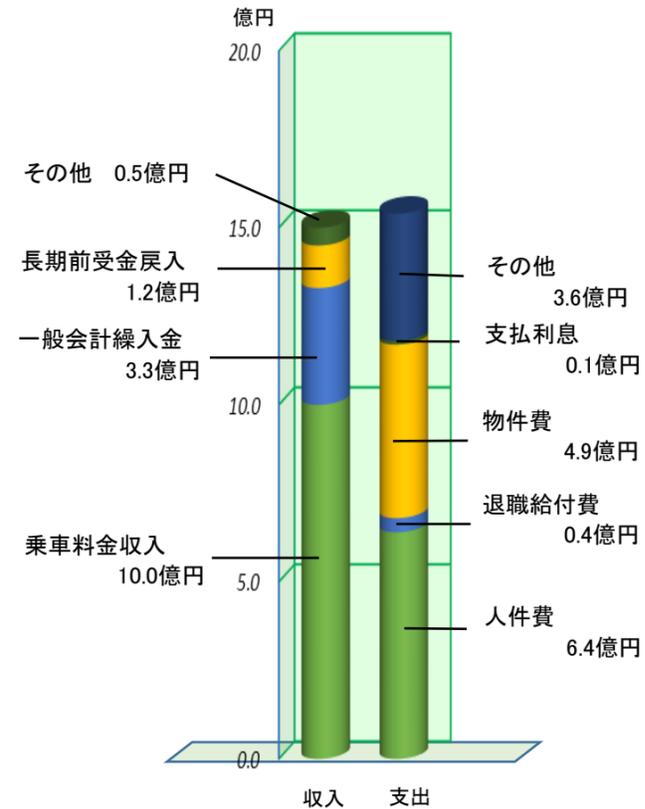
経営ビジョンとの比較

(税込単位:百万円)

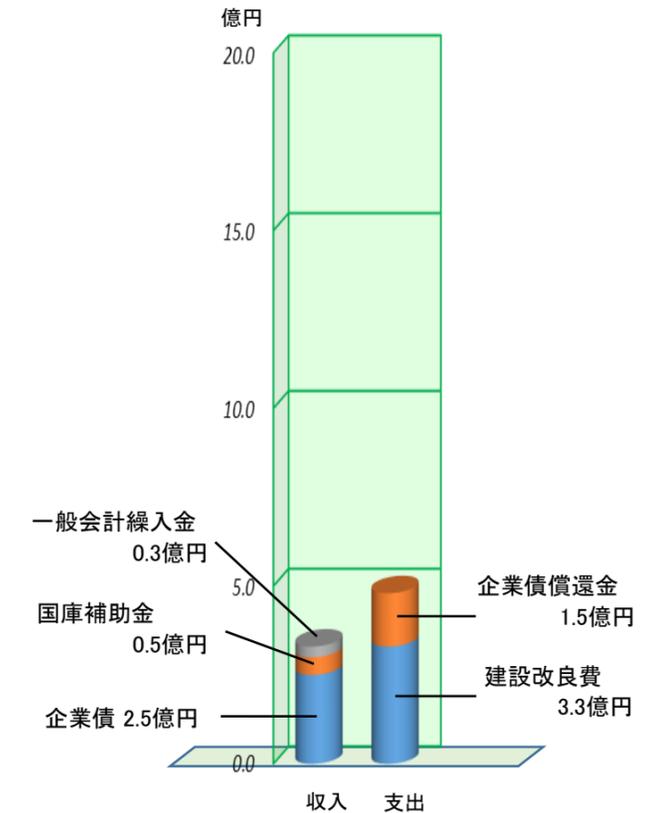
区分	H30経営ビジョン 財政計画(A)	H30当初予算(B)	増減(B)-(A)	
収益的収支	乗車料金収入	1,000	1,000	0
	一般会計繰入金	343	334	△9
	長期前受金戻入	119	118	△1
	その他	67	49	△18
	収入計	1,529	1,501	△28
	人件費	627	638	11
	退職給付費	34	35	1
	物件費	514	493	△21
	支払利息	13	11	△2
	その他	364	361	△3
	支出計	1,551	1,538	△13
	損益	△22	△37	△15
資本的収支	企業債	300	248	△52
	国庫補助金	42	47	5
	一般会計繰入金	32	35	3
	その他	3		△3
	収入計	377	330	△47
	建設改良費	378	331	△47
	企業債償還金	152	152	0
	その他			0
支出計	530	483	△47	
資本的収支不足額	△153	△153	0	
補てん財源	235	226	△9	
当年度財源過不足額	59	36	△23	
当年度累積財源残額	345	361	16	
当年度末企業債残高	2,007	1,944	△63	

(注)四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しません。

収益的収入及び支出



資本的収入及び支出



収益的収入合計	15.0億円	資本的収入合計	3.3億円
収益的支出合計	15.4億円	資本的支出合計	4.8億円
差引(A)	△0.4億円	差引(B)	△1.5億円
(純損益)	△0.6億円		
減価償却費等(C)	2.3億円		
前年度末財源残額(D)		3.2億円	
当年度財源過不足額(E=A+B+C)		0.4億円	
当年度末財源残額(F=D+E)		3.6億円	